

1872年10月14日新橋～横浜間(29km)に日本ではじめての鉄道が開業して以来、115年にわたり幾多の変遷を経て日本全国の鉄道網を経営してきた日本国有鉄道ですが、1955年以降、日本の高度経済成長期を通じた産業構造の変化に伴い、自動車・航空機など他交通機関との競争が激化し、他交通機関に対する優位性が急速に失われるなど、その経営は悪化の一途をたどりました。このため、国鉄は環境の変化に的確に対応すべく、その経営を抜本的に改善する必要にせまられました。

1983年5月、政府は「日本国有鉄道の経営する事業の再建の推進に関する臨時措置法」(法律第50号)に基づき「日本国有鉄道再建監視委員会」を設置し、日本国有鉄道の再建策の検討を行いました。その答申に基づいて第107臨時国会において日本国有鉄道改革法等国鉄改革関連法が成立し、日本国有鉄道は適切な事業単位に分割民営化され、地域密着型の鉄道として新しくスタートすることになりました。

当社は日本国有鉄道改革法(1986年法律第87号)に基づき西日本エリアにおける旅客鉄道事業を受け継ぐ西日本旅客鉄道株式会社として、1987年4月1日資本金1,000億円をもって設立されました。

年譜(当社関係のおもなできごと)

年	月	日	
1872	10	14	日本初の鉄道開通(新橋～横浜間)
1874	5	11	東海道線(大阪～神戸間)の鉄道開業・初代大阪駅誕生
1889	7	1	東海道線(新橋～神戸間)全通
1890	2	19	草津線全通
1896	3	13	奈良線全通
1898	6	4	片町線全通
1899	7	15	福知山線全通
1901	5	27	山陽線(神戸～馬関(現下関)間)全通
1906	3	31	鉄道国有法公布
1907	8	21	関西線全通
1910	4	15	桜島線全通
	6	12	宇野線全通
1913	4	1	北陸線全通
	8	1	東海道線全線複線化完成
1924	3	23	美祢線全通

年	月	日	
1928	10	25	伯備線全通
1930	6	16	阪和線全通
		25	山陽線全線複線化完成
1933	2	24	山陰線全通
1935	11	24	呉線全通
1942	11	15	関門トンネル開業
1949	6	1	公共企業体「日本国有鉄道」発足
1952	4	20	宇部線全通
1956	11	19	東海道線全線電化開業
1959	7	15	紀勢線全通
1961	4	25	大阪環状線全通
1962	6	10	北陸トンネル開業
1964	3	22	大阪環状線完全環状運転開始
	10	1	山陽線全線電化開業
	10	1	東海道新幹線(東京～新大阪間)開業
1969	10	1	北陸線全線複線電化開業
1970	10	1	呉線電化完成
1972	3	15	山陽新幹線(新大阪～岡山間)開業
1973	10	1	関西線(湊町～奈良間)電化開業
1974	7	20	湖西線(山科～近江塩津間)開業
1975	3	10	山陽新幹線(岡山～博多間)開業
1978	10	2	紀勢線(和歌山～新宮間)電化開業
1979	10	1	片町線(長尾～四条畷間)複線開業
1980	3	3	草津線・桜井線および和歌山線(王寺～五条間)電化開業
1981	4	1	福知山線(塚口～宝塚間)複線電化開業
1982	7	1	伯備線・山陰線(伯耆大山～知井宮(現・西出雲)間)電化開業
1984	10	1	奈良線・関西線(木津～奈良間)・和歌山線(五条～和歌山間)・紀勢線(和歌山～和歌山市間)電化開業
1986	11	1	福知山線(宝塚～福知山間)・山陰線(福知山～城崎間)電化開業
1987	3	24	西日本旅客鉄道株式会社創立総会

JR西日本のあゆみ

年	月	日		
1987	4	1	西日本旅客鉄道株式会社発足	
	7	1	「キク象コーナー」、「キク象ボックス」設置 国内旅行業営業開始	
		13	信楽線廃止(信楽高原鐵道開業)	
		16	「経営理念」制定	
		25	岩日線廃止(錦川鉄道錦川清流線開業)	
	8	1	天王寺博覧会に「JR西日本パビリオン」出展 旅行業代理店業務(一般)開始	
	10	1	組織改正実施(近畿圏運行本部廃止、和歌山支店、 福知山支店設置)	
		14	若桜線廃止(若桜鐵道開業)	
	1988	2	2	旅のブランド名を「WENS」に決定
		3	13	ダイヤ改正 「ウエストひかり」誕生 近畿地区8線区9区間の愛称名使用開始
		20	大和路線(加茂～木津間)電化開業	
		25	本四備讃線(茶屋町～児島間)開業 能登線廃止(のと鐵道能登線開業)	
4		1	新制服の着用開始	
		10	本四備讃線全線開業 岡山～高松間の愛称名「瀬戸大橋線」使用開始	
		23	社内ベンチャー制度導入	
6		28	第1回定時株主総会開催	
10		1	組織改正(東京地区の充実、関連事業の体制強化、 新幹線管理体制の変更など)	
		4	社旗、社歌「あしたへ向って」制定	
1989	12	22	「さわやかマナーキャンペーン」開始	
	3	5	嵯峨野線(嵯峨[現・嵯峨嵐山]～馬掘間) 複線新線使用開始	
		11	ダイヤ改正 「グランドひかり」誕生 221系電車デビュー	
	4	1	学研都市線(木津～長尾間)電化開業	
	6	1	消費税導入に伴う運賃・料金改定実施	
		18	旅行業システム「WENSシステム」一部使用開始	
		18	鐵道少年団結成	
	7	21	「トワイライトエクスプレス」運転開始	

年	月	日		
1989	7	22	ダイヤ改正 「くろしお」新大阪、京都駅乗り入れ開始 紀勢線(和歌山～新宮間)の愛称名「きのくに線」 使用開始	
	10	1	組織改正(旅行業の体制強化、鐵道本部の充実、 株式上場推進チーム発足)	
	11	1	一般旅行業営業開始	
	12	5	旅行センターの愛称名を「TiS」に統一 三都物語キャンペーン開始	
	1990	1	10	ベンチャービジネス第1号 旅行グッズ専門店「WENS TOWN」オープン
		3	10	嵯峨野線(京都～園部間)電化開業 近畿圏主要線区にラインカラー導入
		4	1	60歳定年制の導入 社内文書サイズA列化移行 博多南線(博多～博多南間)開業 「国際花と緑の博覧会」の山のエリアに「SL義経号 (ドリームエクスプレス)」を出展 鍛冶屋線、大社線廃止 宮津線廃止(北近畿タンゴ鐵道宮津線開業)
		6	1	第1次鐵道部(10鐵道部)発足 (越前大野、亀山、新宮、加古川、豊岡、津山、木次、 浜田、山口、宇部新川)
			5	海外旅行商品のブランド名として「WENS・WORLD」 を使用開始
		7	20	交通科学館を交通科学博物館に名称変更、リニューアル
8		20	ATS-P形使用開始 (天王寺～鳳間上り線、12月より上下線で使用開始)	
		26	221系電車「ローレル賞」を受賞	
10		1	組織改正(事業本部のグループ制、関西国際空港関 係業務の強化など)	
1991		3	4	総合OAシステム・センター開設(吹田工場内)
		16	完全週休2日制、労働時間短縮の実施	
	4	1	第2次鐵道部(14鐵道部)発足(富山、高岡、小浜、王寺、 橋本、姫路、舞鶴、福崎、備中、府中、鳥取、三次、可部、長門)	
		27	嵯峨野観光トロック列車「ロマンチック・トレイン嵯峨野」 営業開始	
	5	14	信楽高原鐵道(株)線内で列車衝突事故発生	

年	月	日	
1991	9	1	七尾線(津幡～和倉温泉間)電化開業 七尾鉄道部発足 七尾線(和倉温泉～輪島間)の運営をのと鉄道㈱に移管
		14	北陸線(米原～長浜間)直流化
		10. 1	山陽新幹線施設を新幹線鉄道保有機構から買取り
1992	3	30	新本社ビル使用開始
		4. 1	経営理念一部改訂 第3次鉄道部発足(篠山口、出雲) 総合OAシステム本格使用開始
	5	2	「実設訓練センター」を岡山支社に設置(その後、各支社に順次設置)
		16	新大阪総合指令室(現 大阪総合指令所)が開所
	6	8	WIN350走行試験開始
		15	300系新幹線走行試験開始
	8	24	会長に角田達郎、社長に井手正敬 就任
		8. 8	WIN350、国内最高速度記録(350.4km/h)を達成(新下関～小郡間)
	9	30	「JR西日本社員持株会」設立
		2. 25	山陽新幹線、新ATC地上装置全線使用開始
1993	3	18	ダイヤ改正 山陽新幹線に「のぞみ」デビュー
		4. 1	高卒採用社員が初めて入社
	6. 1	組織改正(京都、大阪、神戸支社発足、全支社に「安全対策室」設置)	
	7	1	阪和線運行管理システム「SUNTRAS」使用開始
		9. 20	第1回国内普通社債発行(200億円)
	12	1	ダイヤ改正 美祿線、山陰線にキハ120形を導入
		3. 1	全駅終日分煙化開始
1994	6	15	関西空港線開業
		9. 4	アーバンネットワークのダイヤ改正 関空特急「はるか」デビュー
	10	30	東海道新幹線開業30周年記念 第1回高速鉄道国際会議開催(JR東海、当社主催)
		18	「はるか」が第5回「ブルネル賞」受賞
	12	3	ダイヤ改正 「スーパーやくも」、「スーパーはくと」デビュー
		1. 17	阪神・淡路大震災発生(山陽新幹線、JR神戸線などに大きな被害)

年	月	日		
1995	4	1	JR神戸線が74日ぶりに全線開通	
		8	山陽新幹線が81日ぶりに全線開通	
	20		ダイヤ改正 「スーパー雷鳥(サンダーバード)」デビュー 山陰線(綾部～福知山間)電化開業 新制服の着用開始	
		28	早期地震検知警報システムを山陽新幹線・新大阪～西明石間で使用開始	
	7	11	集中豪雨で大糸線(根知～南小谷間)不通(1997年11月29日開通)	
		9. 12	越美北線の愛称名「九頭竜線」使用開始	
	10	1	地域鉄道部発足(糸魚川、北陸、福井、せとうち、三原、徳山、下関) 社会貢献活動支援基金とボランティア休暇制度を創設	
		3. 16	ダイヤ改正 山陰線(園部～綾部間)電化開業	
	1996	4	27	宮島航路新船「みせん丸」運航開始
			7. 25	次世代新幹線(700系)の共同開発についてJR東海と覚書を締結
31			「スーパーくろしお・オーシャンアロー」デビュー	
		10. 8	大証、東証、名証で株式上場(10月15日京証、広証、福証) 「株主センター」設置	
11		15	山陽新幹線全線で早期地震検知警報システムを使用開始	
		11. 28	ダイヤ改正 JR東西線開業 JR宝塚線(新三田～篠山口間)複線化 「Jスルー」システム JR東西線、学研都市線でスタート フレックスタイム制(本社内)の導入 片町線(片町～京橋間)廃止	
1997		3	8	ダイヤ改正 「500系のぞみ」、「はくたか」デビュー
	22		会長に井手正敬、社長に南谷昌二郎が就任 消費税率変更(3%→5%)に伴い旅客運賃および料金を改定 鉄道共済年金を厚生年金に統合 美祿線(南大嶺～大嶺間)廃止	
	6. 27	上場後初の定時株主総会開催		
7	5	梅小路蒸気機関車館リニューアルオープン		
	9. 11	京都駅ビルグランドオープン		

年	月	日	
1997	11	29	ダイヤ改正 「500系のぞみ」東京乗り入れ
1998	3	14	播但線(姫路～寺前間)電化開業
	4	1	地球環境委員会設置
		28	在来線地震情報早期伝達システムの使用開始
	7	10	新型寝台特急電車「サンライズエクスプレス」デビュー
	8	21	都市型レンタサイクル「駅リンくん」住道駅にオープン
	9	6	「500系のぞみ」が第41回「ブルーリボン賞」受賞
	10	22	「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律」施行
	11	11	インターネットのホームページ上で時刻検索システム「マイ・ダイヤ」を提供開始
1999	2	26	東海道・山陽新幹線の第2指令所が完成
	3	13	ダイヤ改正 「700系のぞみ」デビュー
	6	27	福岡トンネルでコンクリート片が落下
	9	25	「サンライズエクスプレス」が第42回「ブルーリボン賞」受賞
	10	2	舞鶴線が電化開業
		9	山陽新幹線北九州トンネル内でコンクリート片が落下
2000	2	1	「神戸乗務員訓練センター」が完成
	3	1	電話予約サービス「5489サービス」を開始
		11	ダイヤ改正 「ひかりレールスター」デビュー、新快速終日130km/h運転
	4	1	網干総合車両所が発足
		7	交通科学博物館・梅小路蒸気機関車館が英国ヨーク国立鉄道博物館と姉妹提携
	8	17	初の女性の新幹線運転士が誕生
	9	23	「700系のぞみ」が第43回「ローレル賞」受賞
	10	6	鳥取県西部地震発生
	11	6	インターネット予約サービス「e5489」を開始
		17	駅などの運賃標識表示が判明
	12	1	大阪鉄道病院を新築移転
2001	3	24	芸予地震発生
	5	14	英国ヨーク国立鉄道博物館にO系新幹線車両を譲渡
	7	1	山陽本線(兵庫～和田岬間)電化開業
		7	山陰本線(安来～益田間)高速化開業、「スーパーおき」「スーパーく」にびき」「126系気動車」デビュー

年	月	日	
2001	10	1	TiS本部が㈱日本旅行と統合
			ダイヤ改正 「のぞみ」新神戸駅停車拡大、「ひかり」に700系車両・300系車両を投入
		10	京都駅ビルが「ブルネル賞奨励賞」を受賞
		18	ホームページ上で列車運行情報の提供を開始
	11	13	「中期経営目標」を発表
	12	1	JR会社法改正法施行
		4	環境報告書を初めて発行
2002	1	1	京都駅ビルに「京都劇場」がオープン
	6	1	組織改正 「事業創造部」を設置
	7	1	学研都市線・大阪環状線に「女性専用車」を試行導入
		27	交通科学博物館屋外展示場リニューアル
		29	JR京都・神戸線(草津～西明石間)に運行管理システムを導入
	10	1	大阪環状線・学研都市線に「女性専用車」本格導入
	11	1	「社員等倫理綱領」を制定、「倫理委員会」「倫理相談室」設置
		6	東海道線・塚本～尼崎間で救急隊員が死傷する鉄道人身事故が発生
	12	2	JR京都線・神戸線・東西線・宝塚線に「女性専用車」が拡大、夕方の時間にも設定
		16	「人身事故対処要領」「人身事故対処標準」制定(現地連絡責任者の設置など)
	2	19	駅力向上のための「NexStation Plan」を発表
		26	新幹線運転士居眠り事故が発生
	3	1	駅型複合保育施設「JR六甲道キッズルーム」がオープン
		15	ダイヤ改正 特急「しらさぎ」に683系新型車両導入、小浜線電化開業
	4	1	会長に南谷昌二郎、社長に垣内剛が就任 「JR西日本案内センター」開設
	7	18	「DISCOVER WEST」キャンペーンを展開
	9	3	上海に現地事務所「上海代表処」を開設
	10	1	ダイヤ改正(新幹線バージョンアップ) 「のぞみ」増発・自由席設置、小郡駅を新山口駅に改称、東海道新幹線品川駅開業 駅コンコースの終日全面禁煙開始

年	月	日	
2003	11.	1	ICカード「ICOCA」サービス開始
	12.	1	可部線(可部～三段峡間)廃止
2004	3.	12	政府保有の株式2次売却、完全民営化を達成
	6.	1	組織改正 カスタマー企画推進室新設、安全推進部改称、 東京指令所、新大阪総合指令所が独立した組織に 映像制作などを支援する窓口「JR西日本ロケーション サービス」を広報室内に設置
		21	「JR西日本お客様センター」開設
	7.	18	福井豪雨により越美北線に多大な被害(2007年 6月30日に運転再開)
	8.	1	「ICOCA」「Suica」相互利用、「こどもICOCA」 サービス開始
	10.	16	阪和線、大和路線に女性専用車拡大導入
	12.	19	加古川線(加古川～谷川間)電化開業
2005	2.	20	山陽新幹線に自動改札システムを導入開始
	3.	25	中期経営目標「チャレンジ2008～お客様とともに～」 を発表
	4.	25	福知山線列車事故を惹き起こし、お客様106名が死亡、 お客様562名と付近をご通行中の方1名が負傷
	5.	2	「福知山線列車事故相談室」を開設
		31	国土交通大臣へ「安全性向上計画」を提出
	6.	3	大阪電車で第1回「緊急安全ミーティング」を開催
		18	「お詫びと今後の取り組みのご説明会」を開催
		19	福知山線(JR宝塚線)尼崎～宝塚間 運転再開
		20	「安全を最優先する企業風土」の浸透度の検証など を目的とした「社長特別補佐」を新設
		28	第1回「安全諮問委員会」を開催
	9.	1	組織改正 安全推進部の機能強化、 鉄道本部各部への「課制」の導入
		25	兵庫県などと共催で「JR福知山線列車事故 慰霊と 安全のつどい」を開催
	10.	1	「ICOCA電子マネー」サービスを開始
		23	「安全性向上計画の進捗状況などについてのご説明会」 を開催
	11.	1	ATS-P地上子データの設定誤りについて発表
		11	「福知山線列車事故対策審議室」を新設

年	月	日	
2005	11.	26	福知山駅付近の連続立体交差事業が完成
	12.	1	「321系」通勤形車両の営業運転開始
2006	1.	21	「地区別懇話会」を開催(24、28、29日) 「ICOCA」「PiTaPa」の相互利用開始
		24	伯備線で保線作業中の社員と特急列車が接触、 4名が死傷
	2.	1	社長に山崎正夫、顧問に倉内憲孝氏が就任 J-WESTカード発行
	3.	1	「福知山線列車事故ご被害者対応本部」を新設 富山港線(富山～岩瀬浜間)を廃止 (富山ライトレール株が施設を引き継ぎ)
		26	姫路駅付近連続立体交差事業における山陽本線の 高架切替を完了、新線で営業開始
	4.	1	「企業理念」「安全憲章」制定
		3	金沢・京都・大阪・岡山・広島との5支社に「線路技術 訓練センター」を開設
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	5.	21	阪和線連続立体交差事業における下り線高架切替を 完了、使用開始
		23	電気推進船「みやじま丸」が就航
	6.	23	組織改正 <ul style="list-style-type: none"> ・安全推進部の機能強化(安全投資に係る権限・ 責任の見直し) ・鉄道本部内に「新幹線統括部長」を新設、新幹線 の運行と設備保全を専任で担う体制を整備 ・「安全研究所」の設置 ・総合企画本部内に「CSR推進室」の新設 ・広報室、監査室の機能を強化、「部」に改正
		25	「安全研究所」開所
	7.	1	可部鉄道部、舞鶴鉄道部を廃止
		22	新幹線予約サービス「エクスプレス予約」を東海道・ 山陽新幹線全線に拡大
		25	第7回安全諮問委員会を開催 (安全諮問委員会中間とりまとめ)
		29	福知山線列車事故に関する「ご報告会」開催(29、30日)
	9.	24	伯備線触車事故殉職者慰霊式を開催

年	月	日		
2006	10.	1	「鉄道安全管理規程」を制定	
		14	「梅小路の蒸気機関車群と関連施設」を準鉄道記念物に指定	
		21	北陸線・湖西線直流化開業、ダイヤ改正を実施	
		31	中期経営目標の見直しを発表	
		11.	6	東海道線塚本駅構内事故の慰霊碑を建立
2006	12.	30	新型交直流電車521系がデビュー	
		1	50歳以上の方を対象とした旅クラブ「Club DISCOVER WEST」スタート	
2007	1.	24	伯備線触車事故一周忌法要を開催	
		27	第1回安全推進社長式表彰開催	
		4.	1	接客服・検修服の新制服使用開始
		3	鉄道安全考動館を開設	
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催	
		6.	1	「鉄道安全報告書」をはじめて公表
		7.	1	組織改正 「新幹線管理本部」・「大阪電気工事事務所」・「IT本部」・ 「新幹線統括部」・「お客様サービス部」新設 開発本部を「創造本部」に改称
		3	第10回安全諮問委員会を開催、2年間にわたる活動 や議論の内容を「安全諮問委員会 最終報告書」と して取りまとめ	
		8.	4	福知山線列車事故に関する「ご説明会」開催(4・5日)
		28	第1回変革推進会議を開催	
		9.	1	岡山・広島エリアの10線区135駅でICOCAサービスを開始 「事故の芽」を「安全報告」に名称変更
		7	第1回安全推進有識者会議を開催 福知山線列車事故に係る国土交通省航空・鉄道事故 調査委員会の調査報告書で示された「所見」に対する 対応策をまとめ、同省に報告	
		10.	1	障がい者雇用推進を図る新会社「JR西日本あい ウィル」を設立
22	第2回安全推進有識者会議を開催			
11.	1	技術服の新制服使用開始		
12.	10	第3回安全推進有識者会議、新たな安全に関する基 本計画の骨子を発表		

年	月	日		
2007	12.	17	N700系新幹線車両が、「地球温暖化防止活動環境 大臣賞」を受賞	
		20	岡山駅グランドオープン	
2008	1.	24	伯備線触車事故三回忌法要を開催	
		18	第4回安全推進有識者会議を開催、当社が策定する 安全に関する基本計画への提言を発表	
		3.	15	ダイヤ改正を実施 おおさか東線の一部区間、放出～久宝寺間が開業 JR京都線「島本駅」など新駅7駅が開業
		18	「ICOCA」と「Suica」(JR東日本)の電子マネー相互 利用を開始	
		26	「安全基本計画」を発表	
		29	「ICOCA」と「Suica」、「TOICA」(JR東海)の相互 利用開始	
		4.	5	福知山線列車事故で被害に遭われた方々に対して 「安全基本計画」ご説明の場を開催(5、6日)
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催	
		5.	16	「JR西日本グループ中期経営計画2008-2012」を発表
		6.	29	奈良駅大和路線高架化
		7.	1	組織改正を実施 コア技術の強化に向けた基盤整備のため、本社に 「保安システム室」「車両設計室」「構造技術室」を 新設
		9.	15	Jスルーカードの販売を終了
10.	1	大阪環状線、JRゆめ咲線全22駅ホームおよびコン コースで全面禁煙をスタート		
14	交通科学博物館に保存・展示しているO系新幹線を 鉄道記念物に指定			
26	東京駅新幹線ホームでN700系新幹線車両のブルー リボン賞授賞式を実施			
27	第5回安全推進有識者会議を開催			
11.	30	O系新幹線の定期運転が終了		
12.	1	湖西線(比良～近江舞子間)に防風柵が完成。また、 近江舞子駅にて風力発電の開始		
14	新大阪駅、広島駅、博多駅で「O系新幹線さよなら式典」 を開催			

年	月	日	
2008	12	22	姫路駅付近の高架化が完成 (播但線・姫新線の供用開始)
2009	1	5	「企業考動報告書2008 JR西日本CSRレポート」を公表
		25	瀬戸大橋線(備中箕島～久々原間)複線化工事が完成
	2	20	山陽線(明石～西明石間)において、協力会社保守作業員が快速列車に触車し死亡する事故が発生
		26	山陽・九州新幹線相互直通列車の名称を「さくら」に決定
	3	3	第6回安全推進有識者会議を開催
		14	タイヤ改正 姫新線に新型車両(キハ122、127)投入
		31	関西線(八尾～杉本町間)を廃止
	4	1	一般財団法人「JR西日本あんしん社会財団」を設立
		20	当社グループの新たな情報ネットワーク「G-NET」を運用開始
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	6	1	組織改正を実施 金沢支社に「富山地域鉄道部」、広島支社に「山口地域鉄道部」などを新設
			在来線特急列車などを全座席禁煙化 サンダーバード号に新型車両(683系4000代)投入
	7	1	京阪神近郊エリアの在来線ホームを禁煙化
	8	福知山線列車事故にかかわる神戸地方検察庁の発表を受けて、山崎社長が辞意を表明	
8	22	福知山線列車事故に関する「ご説明会」開催(22、23日)	
	31	社長に佐々木隆之が就任	
9	28	福知山線列車事故に対する航空・鉄道事故調査委員会の調査の過程で、当社幹部が重大なコンプライアンス問題を発生させていたことに対して、国土交通大臣が実態調査や再発防止策の策定を厳命	
10	2	コンプライアンス特別委員会の発足	
	4	大阪環状線・大和路線運行管理システムの使用開始	
	17	福知山線列車事故調査におけるコンプライアンス問題について、ご遺族様やお怪我をされた方々を対象に「お詫びの会」を開催(17、18日)	
11	18	福知山線列車事故調査における重大なコンプライアンス問題に関して、社内調査の最終報告書を国土交通大臣に提出	

年	月	日	
2009	12	1	「企業再生推進本部」「企業倫理・リスク統括部」を新設
		12	福知山線列車事故調査における重大なコンプライアンス問題に関して、国土交通大臣へ最終報告した内容と今後の取り組みなどについて、ご遺族様やお怪我をされた方々とそのご家族の皆様を対象に「ご説明会」を開催(12、13日)
2010	1	6	一般財団法人JR西日本あんしん社会財団(JR西日本財団)が内閣総理大臣より公益認定を受け、公益財団法人となる
	3	13	タイヤ改正(嵯峨野線京都～園部間複線化など)
		26	「ICOCA」「TOICA」の電子マネー相互利用開始
		26	第7回安全推進有識者会議
	4	25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	6	1	組織改正 敦賀地域鉄道部の新設など
	7	15	広島・山口両県豪雨により美祢線に多大な被害(2011年9月26日に全線運転再開)
		22	山陽新幹線で保守用車に別の保守用車が追突、追突した側の車両が脱線
	8	12	宇野線開業・宇高連絡船就航100周年 山陰線鏝～餘部間余部新橋りょうの架け替え工事が完了し、使用開始
	10	28	「JR西日本グループ中期経営計画2008-2012」の見直しについて発表
	11	7	特急「はまかぜ」に新型車両(189系)投入
	12	1	組織改正 「近畿統括本部」発足 京阪神エリアに新型近郊電車「225系」投入
		9	「福知山線列車事故調査に係る情報漏えいなどについての働きかけに関する再発防止策などの改善処置実施状況について」国土交通大臣に提出
	11	福知山線列車事故に関わる「ご説明会」開催(11、12日)	
2011	2	1	芸備線(備中神代～広島間)および福塩線(府中～塩町間)に自動進路制御装置(SRC)を導入
	3	5	インターネットサービス列車予約サービス「e5489」サービス開始
		8	「ICOCA」「SUGOCA」の相互利用サービス開始 JR宝塚線、JR東西線、学研都市線運行管理システムの使用開始

年	月	日		
2011	3	11	東日本大震災発生 特急「雷鳥」の運転が終了	
		12	ダイヤ改正 九州新幹線(鹿児島ルート)全線開業、山陽・九州 新幹線直通列車「さくら」「みずほ」がデビュー 特急「こうのとり」デビュー	
		27	北新地駅で可動式ホーム柵の使用開始	
	4	18	女性専用車両の全日化および終日化開始	
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催	
	5	4	大阪ステーションシティがグランドオープン	
	9	2	台風12号により紀勢線(きのくに線)に多大な被害 (2011年12月3日に全線運転再開)	
		10	14	「さくら」「みずほ」(N700系7000番/8000番代) が第11回「ブルネル賞」受賞
	11	1	JR東日本、東京地下鉄、JR九州、JR貨物、東急電鉄、 京阪電鉄と共同で海外に向けて鉄道コンサルティング 業務を行う会社「日本コンサルタンツ株式会社」を設立	
		19	福知山線列車事故に関わる「ご説明会」開催(19、20日)	
	2012	3	16	新幹線100系、300系のさよなら運転を実施 寝台特急「日本海」、急行「きたぐに」の定期運転終了
			17	ダイヤ改正 特急「くろしお」に新型車両(287系)投入
		4	25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
		5	1	会長に佐々木隆之、社長に真鍋精志が就任
			10	近畿車輛株式会社の株式の一部を取得、業務提携契 約を締結
		11	11	京阪神の主な線区を対象にホームページで遅延証 明書の発行を開始
			6	1
		9	24	当社、スペイン国鉄、スペイン鉄道インフラ管理機構 との3社間連携協定の覚書を締結
			26	ボシブル医科学株式会社の株式の一部を取得
10		31	大阪駅高架下に「エキマルシェ大阪」開業	
11		10	福知山線列車事故に関わる「ご説明会」開催(10、11日)	

年	月	日	
2012	12	1	近鉄、京阪とJR西日本とでICOCA連絡定期券を 発売開始
		31	ブッシュホン電話予約・空席照会サービスを終了
2013	1	31	可部線の電化延伸を発表
		4	10
	3	13	「中期経営計画2017」「安全考動計画2017」を公表
		15	183系特急電車の運転が終了
	4	16	ダイヤ改正 特急「はるか」の料金を改定
		23	10の交通系ICカードの全国相互利用サービスを開始
	3	31	「オレンジカード」「周遊きっぷ」の発売終了
		4	1
	8	8	駅ナカ調剤薬局1号店「駅クオール薬局JR大阪店」 を開局
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	5	25	福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々、 そのご家族様に向けた「安全考動計画2017に関する ご説明会」を開催(25、26日)
		6	1
	7	1	ジェイアール西日本不動産開発(株)と(株)ジェイアール 西日本福岡開発が合併 (株)ジェイアールサービスネット米子と山陰ステーション 開発(株)が合併、JR西日本山陰開発(株)として発足
		6	大和路線・八尾駅の自由通路・橋上駅舎の供用開始
	28	28	山口・島根豪雨災害により山陰線、山口線に多大な 被害(山陰線は2014年8月10日、山口線は同8月 23日に運転再開)
		8	1
	24	24	島根豪雨災害により三江線に多大な被害(2014年 7月19日に運転再開)
		11	16
	12	5	JRゆめ咲線桜島駅で昇降式ホーム柵試行運用開始
11		アジア航測株式会社の株式を追加取得、業務提携契 約を締結	

年	月	日	
2013	12	18	京都梅小路の新博物館の名称を「京都鉄道博物館」と公表
		21	当社所属の「N700A」車両デビュー
2014	3	15	ダイヤ改正 「みずほ」の姫路駅新規停車
		4	1
	6	6	交通科学博物館が閉館
		25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	6	1	組織改正 本社に「監査役室」「技術企画部」「施設部施設技術室」 を新設、あわせて技術部を技術開発部へ改称、社長特 別補佐制度を安全統括管理者補佐制度へ移行 金沢支社に北陸新幹線に関する新たな組織が発足
			4
	7	1	スマートフォン・アプリで列車の運行情報をプッシュ 通知するサービスを開始
			19
	8	1	株式会社五万石千里山荘の株式の一部を取得
			1
11	29	福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々、そのご家 族に向けた事故現場に関するご説明会を開催(29日、30日)	
		3	12
2015	3	14	北陸新幹線 長野～金沢間が開業、「かがやき」「はく たか」「つるぎ」がデビュー
			北陸線(金沢～直江津間)の運営をIRいしかわ鉄道(株)、 あいの風とやま鉄道(株)、えちごトキめき鉄道(株)に移管
	4	2	特急「ダイナスター」「能登かがり火」デビュー
			広島エリアに227系(Red Wing)を導入
	4	2	厚狭太陽光発電所発電開始
			「LUCUA 1100」グランドオープン
	4	25	福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
			30

年	月	日	
2015	5	21	北陸新幹線「W7/E7系」車両が「ブルーリボン賞」を受賞
		6	1
7	1		「シンガポール事務所」を新設
		8	8
30	30		梅小路蒸気機関車館が閉館
		9	19
11	7	7	「500 TYPE EVA」運転開始
		14	福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々、 そのご家族に向けた事故現場に関するご説明会を開催 (14、15日)
12	9		ブラジル都市旅客鉄道事業への出資を決定
		2	26
3	19		学研都市線京橋駅で可動式ホーム柵の使用開始
		26	ダイヤ改正 JR京都線高槻駅で昇降式ホーム柵の使用開始
4	1		「ヒューマンエラー」に対する処分、マイナス評価の見直し
		組織改正 本社に「鉄道文化推進室」を新設 医療法人JR広島病院の設立に伴い広島鉄道病院の業務を移管	
25	28		福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
			28
6	1		組織改正 本社に「鉄道運行システム室」「海外鉄道事業推進室」を新設
		8	吹田片山社宅跡地に「吹田グリーンプレイス」がオープン
15	15		安全管理体制に対する第三者評価結果を公表
		22	会長に真鍋精志、社長に來島達夫が就任
8	17		京都鉄道博物館に収蔵の233号機関車が国の重要 文化財に指定
		30	日本信号株式会社との資本業務提携締結

年	月	日	
2016	10	14	京都鉄道博物館が日本鉄道大賞受賞
	11	12	福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々とそのご家族様に向けた事故現場に関するご説明を開催(12、13日)
	12	1	株式会社JR西日本イノベーションズを設立
2017	24		大阪環状線に新型車両(323系)投入
	2	1	菱重プロパティーズ株式会社の株式70%取得 株式会社JR西日本ファーストキャビンを設立
	5		京都駅が開業140周年
	19		山陽新幹線において新ATCを使用開始
	3	1	本社1Fに福知山線列車事故の再現模型を展示
	4		ダイヤ改正を実施 可部線 可部～あき亀山駅間を延伸
	24		「Travel Service Center OSAKA」が開業
	4	1	会社発足30周年 新制服を導入
	22		大阪駅6番のりばで可動式ホーム柵使用開始
	25		福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	6	1	組織改正を実施 安全マネジメント戦略室を設置 せとうち地域鉄道部の廃止 広島総合指令所の設置 など
	17		「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の運行開始
	19		株式会社JR西日本キャリア設立
	9	30	東海道・山陽新幹線の新しいネット予約・チケットレス乗車サービス「スマートEX」を開始
	10	3	大阪環状線103系が営業運転終了
22		阪和線東岸和田駅の高架化開業	
28		(株)JR西日本ファーストキャビンが1号店「ファーストキャビンステーションあべの荘」を開業	
29		中国SC開発(株)が広島駅在来線線路上空に「ekie」第一期エリアをオープン	
11	2	大阪鉄道病院で緩和ケア病棟を開棟	
19		琵琶湖線 安土駅の橋上駅舎および自由通路の供用開始	
26		岩国駅の橋上駅舎・自由通路の供用開始	

年	月	日	
2017	12	11	「のぞみ34号」で車輪やモーターがある台車部分から油漏れするトラブルがあり、台車の鋼製の枠に亀裂が発生(新幹線初の重大インシデント)
	2	1	「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」を発表
2018	6		手荷物預かりシェアリングサービスを行うecbo(株)と業務提携契約を締結
	11		福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々とそのご家族に向けたご説明会を開催(11、12日)
	4	1	JR西日本SC開発(株)がルクア大阪地下2階に「LUCUA FOOD HALL」をグランドオープン 三江線(三次～江津間)を廃止
	25		福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
	27		「JR西日本グループ中期経営計画2022」を発表
	5	20	山陽線 西広島～岩国間で新保安システム(D-TAS)を使用開始
	6	1	組織改正を実施 本社機能と支社機能を一体化し、新幹線鉄道事業本部の設置 本社に誘客促進部、オープンイノベーション室の設置 三原地域鉄道部の廃止
	6		旧大阪弥生会館跡地に「ホテルヴィスキオ大阪」が開業 「ホテルホッピングアミング」より「ホテルヴィスキオ尼崎」に屋号名を変更
	18		大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生
	7	6	西日本豪雨(平成30年7月豪雨)により西日本エリアを中心に被災
	25		新幹線車内無料Wi-Fi「Shinkansen Free Wi-Fi」サービス順次開始
	8	1	列車運行情報用のJR西日本公式Twitterアカウントを開設
9	14	「祈りの杜 福知山線列車事故現場」ご案内開始	
10	1	「ICOCAポイント」「PiTaPaポストペイサービス」開始	
14		「旧津山扇形機関車庫と転車台」を鉄道記念物に指定	
11	11	東淀川駅を橋上化、駅付近の開かずの踏切を廃止	
17		福知山線列車事故のご遺族様、お怪我をされた方々とそのご家族に向けたご説明会を開催(17、18日)	
12	9	SL「やまぐち」号35系客車のブルーリボン賞受賞記念式典を開催	

年 月 日
2019

- 1. 24 伯備線触車事故追悼慰霊式を開催
- 2. 16 大阪駅5番のりばで昇降式ホーム柵使用開始
- 3. 10 尾道駅新駅舎の共用開始
- 16 ダイヤ改正
おおさか東線新大阪～放出駅間が開業、JR神戸線・JR京都線・琵琶湖線の一部新快速に有料座席サービス「Aシート」を導入、和歌山線に新型車両227系導入、境線に車載型IC改札機を備えた車両を導入
- 18 JR神戸線で通勤時間帯に特急「らくらくはりま」の運行開始
- 21 新幹線重大インシデントに係る有識者会議社外委員からの外部評価受理
- 4. 1 当社初となる企業内保育所「かものはし保育園かたやま」を開設
- 25 福知山線列車事故追悼慰霊式を開催
- 5. 14 信楽高原鐵道列車事故追悼慰霊法要を開催
- 6. 20 組織改正を実施
本社に近畿営業部・万博プロジェクト推進室・システム開発室の新設、山口エリアにおける地域鉄道部（徳山・山口・下関）の廃止と山口エリア統括部の設置
- 7. 1 JR西日本SC開発と天王寺SC開発が合併
- 10 なにわ筋線の鉄道事業許可証受理

MEMO

※1987年度から2018年度の新駅開業については、P88・89をご覧ください。